

基本理念	高めるもの 方向性	チャレンジする施策	事業内容	新規 継続 拡充 終了	令和6年8月までの取組み状況	令和6年9月以降の取組み(予定)	重点プロジェクト							
							6-1 遊園ルネ サンス	6-2 日本ライ ン再発見 ルート	6-3 城下町景 観・環境 レベル アップ	6-4 城下町ク リエイ ティブ移 住	6-5 SDGs体 験・学習 サイト	6-6 クロス オーバー 資源開発	6-7 ユニーク MICE	6-8 広域 連携
							水景	水景	城景	城景	緑景	水景 城景 緑景	水景 城景 緑景	水景 城景 緑景
<p>犬山ならではの感動が得られる (オリジナリティ)</p> <p>資源発掘・創造 ブランド形成 (ソフト施策)</p>	<p>35</p> <p>世界でも稀有な施設「日本モンキーセンター」「博物館明治村」のブランド力向上</p>	<p>【再掲】明治村、リトルワールドのMICE活用検討</p>	継続	<p>愛知県国際観光コンベンション課との連携事業。ユニークMICEの場所として、明治村(呉服座、帝国ホテル正面玄関)を選定。情報提供し利用を促す取組みを実施。また、明治村及びリトルワールドをJNTOが制作するMICEコンベンションガイドブックに掲載、活用を促している。</p>	<p>今後も本市の資源を活かしMICE活用が進むよう研究を進めるとともに、支援を継続する。一方で左記でのミーティングの場としての利活用が多数実現するものではないことから、インセンティブ旅行に対する体系的なアプローチの仕組みを確立する必要がある。</p>									
		<p>アート視点でのプロモーション(明治村)</p>	拡充	<p>博物館明治村の聖ザビエル天主堂。色ガラスに白ペンキで草花模様を描かれたステンドグラスが特徴的であり、明治村をアートの視点で魅力発信する取組み。R5年度下期プロモーションにて発信。R6年度上期プロモでは旧帝国ホテル・ライト館を紹介。</p>	<p>明治村は重要な建築物が多数所在している。これらはアートの視点でも重要な観光資源となり得るため、紹介や提供の切り口や見せ方・伝え方を工夫して多くの方に関心を持っていただけるような取組みが必要である。また、リトルワールドの資料、建築物も同様であり活用の可能性を図りたい。</p>									
		<p>36</p> <p>犬山焼の新たな価値づくり(ブランディング)</p>	<p>観光施設に犬山焼を活用(彩雲橋トイレ改修工事)</p>	継続	<p>木曾川河畔内田地区の彩雲橋公衆トイレ改修工事の際に、室内に犬山焼のレリーフを設置(男・女・多目的の3枚)。</p>	<p>施設利用者に快適に使用していただくことに加え、河畔と犬山焼の価値を高めることに寄与するものとする。</p>								
			<p>犬山焼絵付け体験開催</p>	継続	<p>体験型観光コンテンツの一つとして、シェアリングエコノミーの仕組みも取り入れ、犬山焼絵付け体験を実施。</p>	<p>犬山らしく体験者からも好評を得ている。また、犬山焼の認知度向上と価値づくりにも資するため継続実施の予定。</p>								
		<p>37</p> <p>名古屋市との連携による犬山のブランディング</p>	<p>名古屋城内でのイベントへの参加(名古屋城まつり)</p>	継続	<p>名古屋城内でのイベントに犬山市として参画(R5.5月、R5.8月、R6.5月、R6.8月他多数)。お城繋りのプロモーションは、来訪者の属性として「お城好き」の方も多く、有効である。現地でのプロモーションをきっかけに犬山城への来訪にも繋がっている。機会を得て今後も参画の予定。</p>	同左								
			<p>「時を旅する愛知の街道」の発行</p>	新規	<p>あいちの歴史観光推進協議会発行(犬山市も加入)。江戸時代から明治時代を中心とした愛知県の歴史的な街道を対象にした観光ガイドブック。令和6年6月発行。</p>	<p>街道をテーマに取り上げたガイドブックは近年珍しく、コアなファン層の開拓、広域観光の促進、愛知県全体の魅力向上の点で有意である。市町単位でなく愛知県が取りまとめており、単独の市町では成し得ない取組みとなっている。</p>								
		<p>39</p> <p>異分野連携、多様な主体の参加による観光コンテンツ・体験メニュー開発と磨き上げ</p>	<p>【再掲】花手水の設置(初夏及び冬)</p>	継続	<p>犬山城下町に花手水を設置。市及び協会にて城前観光案内所、城前広場、磯部邸に設置。城下町の多くの店舗の参画もあり、犬山らしく町並みの風情に合う企画となった(R5年6月・R6年2月・R6年6月実施)。</p>	<p>今後も花手水を継続して設置することで、犬山城下町の価値とブランド力向上を図る。非繁忙期のコンテンツとしても成長を期待している。各店舗でもR7年2月頃にも実施予定。</p>								
			<p>小牧・長久手の戦いに関するコンテンツ造成</p>	継続	<p>小牧・長久手の戦いゆかりの地にちなみ、三種の特別御城印販売及び犬山合戦帳の配布(R5年3月)。第二弾として特別御城印帳セットを販売(R5年8月)。 小牧・長久手の戦いゆかりの地(犬山城、羽黒城址、八幡林古戦場、楽田城址、内久保砦、青塚砦)にのぼり旗を掲出(R5年3月)。 小牧・長久手の戦いを詳しく紹介するパネルを作成。城とまちミュージアム、楽田ふれあいセンターにて展示(R5年8月~12月)。</p>	<p>小牧・長久手の戦いは秀吉と家康が直接対決した、事実上の天下分け目の戦いであり、更なる価値向上を図る必要がある。紹介パネルは犬山城を攻略した3月13日にちなみ、今後も毎年同時期にパネル展を開催予定。</p>								
			<p>体験型観光コンテンツの造成及び拡充(シェアリングエコノミーの仕組みを活用等)</p>	継続	<p>シェアリングエコノミーを活用した取組み実績として、R5年度はメニュー数32件(うち新規メニュー8件)延べ参加者数270人となった。特に、春、夏などは城前観光案内所等を会場に、「井思い出ですぎ犬山体験」として集中的に体験フェアを開催。利活用が進んでいる。 ※主なメニューはわらじ作り、かんざし作り、犬山焼絵付け体験など</p>	<p>R6以降も継続して担い手・利用者募集の取組みを実施。チラシの作成・配架、Instagramでの発信、犬山観光情報HPでの周知宣伝をすることで新規メニューの造成増を図る。また、市・観光協会自身もコンテンツづくりを進める。</p>								
		<p>40</p> <p>高単価・高付加価値商品造成取組み支援</p>	<p>愛知県事業、インディゴと旅行会社による祭観覧・屋形船クルーズ商品造成、名古屋鉄道(株)による高付加価値事業の開催</p>	新規	<p>名古屋鉄道(株)による観光庁補助金を用いた有楽苑、犬山祭のからくりなどをコンテンツとした高富裕層向けの商品造成を検討中。ホテルインディゴ犬山有楽苑では旅行会社と連携して犬山祭観覧、高級屋形船の遊覧などを楽しむ高単価・高付加価値のあるツアー商品を造成催行(R6.4月)。愛知県事業でも木曾川鶴飼観覧(もしくは屋形船クルーズ)を盛り込んだ高単価商品の造成を図るモニターツアーを造成予定であり準備を進めている。</p>	<p>名古屋鉄道(株)の高単価商品はR7.2月までに造成販売予定。インディゴのツアー造成は旅行会社と連携して随時検討・催行のスキームとなっている。愛知県事業も年度内にモニターツアーを実施し商品造成を目指すなど聞いている。高単価・高付加価値商品は国内外においてニーズが多く見られつつあるため、機を捉えて造成・実施していく必要があり愛知県、宿泊施設、旅行会社など関係機関との連携は必須である。今後も情報を密に取り進めていく。</p>								
<p>3×3バスケットボール大会の開催</p>	継続		<p>いぬやまスポーツコミッション(スポーツ交流課 所管)の支援により、3×3のプロバスケットボール大会を城前広場で開催(R5.7月)。70周年記念事業として成田山でも開催(R6.5月)。プロの試合だけでなく、プログラムに市内小中学生の試合も組み込まれるなど、市民も楽しめる良い大会となった。</p>	<p>今後も積極的に開催を支援する。</p>										
<p>41</p> <p>文化財・芸術・スポーツ分野の連携と活用(スポーツコミッション等との連携等)</p>	<p>全国学童軟式野球大会の開催</p>	継続	<p>いぬやまスポーツコミッションの支援により、全国学童軟式野球大会を誘致し令和5年11月に開催。</p>	<p>今年度もR7.1月開催に向け準備をしており、積極的に支援する。</p>										
	<p>尾張富士の石上げまつり(県文化財指定)の周知及び価値向上の取組み</p>	新規	<p>令和5年8月に県文化財指定を受けた尾張富士の石上げ祭を周知するため、城とまちミュージアムにて企画展を開催。また市民総合大学にて石上げ祭を始めとした犬山の祭について学ぶ機会を設けた。</p>	<p>石上げ祭への参画者が増えるとともに価値向上のため、市のホームページなども活用し情報の発信に努める。</p>										
	<p>犬山観光プロモーションでのアート紹介</p>	新規	<p>犬山観光プロモーションでモンキーパークの若い太陽の塔、博物館明治村の聖ザビエル天主堂。旧帝国ホテル・ライト館、リトルワールドのンデベレの家壁画、犬山遊園駅での桃太郎オブジェ等を紹介。</p>	<p>犬山には重要な建築物も豊富である一方でアートの視点でも見応えのある施設や資源が豊富である。文化・芸術分野の連携・提供は犬山のブランド力向上において重要であり、引き続きアート視点での紹介・提供を実施する。</p>										
	<p>第15回鈴木しづ子顕彰会 小中高生「いのちの俳句大会」</p>	継続	<p>犬山市に所縁のある俳人「鈴木しづ子」を顕彰するとともに、文化の薫り高い俳句のまち犬山を目指し、小中高生対象の俳句大会を実施(R5年9月実施)。投句者総数821人。</p>	<p>R6年度も継続して開催予定(R6年9月)。</p>										

